

第4回 スポーツニューロサイエンス研究会 (第13回 脳・神経・内分泌系から運動の意義を考える会)

10回目を機に本研究会はスポーツニューロサイエンス研究会 (Conference for Sport Neuroscience) と名称を新たにしました。スポーツ (Sport) は世界共通語で、スポーツ競技に限らない余暇活動や健康増進など幅広い領域における運動を意味します。ニューロサイエンスは運動効果を仲介する脳・ホルモン機構を考え、身心統合への理解を深める新たな視点を提供してくれる学問領域であり、他分野との領域を越えた議論を目指す本研究会の性格をあらわしています。

今回は「新しいライフスタイル構築に向けた運動-脳・神経科学研究」と題しました。COVID-19の拡大により、全世界の人々の生活が一変したことに疑う余地がありません。経済面や医療現場への影響はもちろんのこと、学校閉鎖や社会交流の減少、運動機会の喪失を余儀なくされ、人々の身心の健康への悪影響が顕在化しつつあります。これほど多くの人が、スポーツ・身体活動の機会損失が精神的健康を損なうことを身に染みて感じた期間はなかったのではないのでしょうか。このような新しいライフスタイル構築が全世界に求められている今、まさにスポーツニューロサイエンス研究の重要性はさらに高まっていると言えるでしょう。本研究会がスポーツ、運動、脳・神経科学の最新の知見について議論、情報交換する場となり、この領域の研究をさらに発展・促進するきっかけとなれば幸いです。

1. 日 時：2021年9月16日(木) 14:00~18:00 (13:30受付開始)

2. 場 所：オンライン開催 (zoom)

3. 会 費：無 料

4. プログラム：

＜第一部＞話題提供 (発表30分間+討論10分間)

「脳機能に対する運動の効果は脳のメカノセンシングを介する・・・か？」

澤田 泰宏 (厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンター)

「運動・体力と認知機能の関係：脳マルチモーダルMRI研究」

石原 暢 (神戸大学 人間発達環境学研究科)

＜第二部＞若手発表 (発表8分間+質疑応答5分間)

*優秀発表者には若手研究発表賞を贈呈します。

5. 懇親会：なし

6. 世話人：北 一郎 (東京都立大学)、丹 信介 (山口大学)、三上 俊夫 (日本医科大学)、
征矢 英昭 (筑波大学)、西島 壮 (東京都立大学)、志内 哲也 (徳島大学)

7. 参加申込み：研究会に参加される方、若手発表で発表いただける方は下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

8. 連絡先：運営事務局 E-mail: sports.neurosci@gmail.com
筑波大学 運動生化学研究室 Tel: 029-853-2969